

しんじょう市議会だより

No.142

2018.11.12



| | |
|--------------|-----|
| 9月定例会の経過 | P 2 |
| 平成29年度決算の認定 | P 4 |
| この街に学ぶ | P10 |
| 特集 未来を育む子供たち | P12 |

「桜萩会 なかよし交流」

なかよし交流は、桜萩会（児童生徒会）で企画している縦割り班での活動です。一年生から九年生までの児童生徒が班対抗でゲームを楽しみながら、絆を深めています。学年を越えて豊かな人間関係を育み、「友」をつくるのも萩野学園の目標の一つとなっています。

9月定例会の経過

平成30年度9月定例会では、平成29年度各会計決算9件を認定し、条例改正及び平成30年度各会計補正予算など議案12件を原案通り可決した。

また、「政府が核兵器禁止条例に署名し国会が批准すること」を求めるとした請願1件を採択し意見書を提出することを決め閉会した。

なお、平成30年度一般会計は、6億8,748万円を追加し162億713万円となる。

9月定例会で審議された議案など

9月定例会では、報告4件、議案23件、議会議案1件が審議されました。

| 種類 | 番号 | 件名 | 結果 |
|---------------|------|---------------------------------------------------------|-------------------|
| 【市長提出】 | | | |
| 報告 | 第10号 | 一般財団法人新庄市体育協会の経営状況の報告について | 了承 |
| | 第11号 | 新庄市土地開発公社の経営状況の報告について | 了承 |
| | 第12号 | 平成29年度新庄市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について | 了承 |
| | 第13号 | 平成30年度新庄市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について | 承認 |
| 議案 | 第44号 | 新庄市教育委員会委員の任命について | 同意 |
| | 第45号 | 財産の処分について | 可決 |
| | 第46号 | 新庄市総合計画策定条例について | 可決 |
| | 第47号 | 新庄市議会議員及び新庄市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| | 第48号 | 新庄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| | 第49号 | 新庄市国民健康保険給付基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| | 第50号 | 新庄市エコロジーガーデン設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| | 第51号 | 平成29年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第52号 | 平成29年度新庄市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第53号 | 平成29年度新庄市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第54号 | 平成29年度新庄市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第55号 | 平成29年度新庄市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第56号 | 平成29年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第57号 | 平成29年度新庄市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第58号 | 平成29年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 |
| | 第59号 | 平成29年度新庄市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について | 可決・認定 |
| | 第60号 | 平成30年度新庄市一般会計補正予算（第3号） | チョイス1~3 可決 |
| | 第61号 | 平成30年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| | 第62号 | 平成30年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| | 第63号 | 平成30年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| | 第64号 | 平成30年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| | 第65号 | 平成30年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| | 第66号 | 平成30年度新庄市水道事業会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 【議員提出】 | | | |
| 議会議案 | 第1号 | 日本政府が速やかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書の提出について | 可決 |

議案に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案をお知らせします。○→賛成 ●→反対

| 議案等番号 | 会派名 | 起新の会 | | 市民・公明クラブ | | | 穆清会 | | 絆の会 | | | 会派に属さない議員 | | | | 採決結果 | | | | |
|--------|----------------------------------------|------|------|----------|------|------|------|-------|-----|------|------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| | | 佐藤義一 | 石川正志 | 小嶋富弥 | 小野周一 | 山科正仁 | 佐藤卓也 | 高橋富美子 | 小関淳 | 遠藤敏信 | 奥山省三 | 森儀一 | 今田浩徳 | 清水清秋 | 新田道尋 | | 佐藤悦子 | 叶内恵子 | 下山准一 | 星川豊 |
| 議案第46号 | 新庄市総合計画策定条例について | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第50号 | 新庄市エコロジーガーデン設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第51号 | 平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第58号 | 平成29年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第60号 | 平成30年度一般会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ● | 棄権 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | 棄権 | 可決 |

※議長は採決に参加しません。

※原案のとおり採決することについての賛否をはかっています。（新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則）

修正案に対する議員の賛否

修正案に対する賛否をお知らせします。○→賛成 ●→反対

| 議案等 番号 | 会 派 名 | 起新の会 | | 市民・公明クラブ | | | 穆清会 | | 絆の会 | | | 会派に属さない議員 | | | | 採 決 結 果 | | | |
|------------|----------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|---------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|------------------|----------|----------|----------|
| | | 佐藤 義一 | 石川 正志 | 小嶋 富弥 | 小野 周一 | 山科 正仁 | 佐藤 卓也 | 高橋 富美子 | 小関 淳 | 遠藤 敏信 | 奥山 省三 | 森 儀一 | 今田 浩徳 | 清水 清秋 | 新田 道尋 | | 佐藤 悦子 | 叶内 恵子 | 下山 准一 |
| 議案 第46号 | 新庄市総合計画策定条例について | ● | ● | ● | - | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ● | 否決 |
| 議案 第60号 | 平成30年度新庄市一般会計補正予算 (第3号) | ● | ● | ● | - | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 棄権 | 棄権 | 否決 |

※議長は採決に参加しません。

※修正案のとおり採決することについての賛否をはかっています。(新庄市議会会議規則第70条：可をもって^{はか}諮ることを原則)

修正動議 2件を否決

新庄市議会 9月定例会最終日(9月21日開催)において、議案第46号「新庄市総合計画策定条例」及び議案第60号「平成30年度新庄市一般会計補正予算(第3号)」に対し、それぞれ修正動議が提出されたが、両案は採決の結果賛成少数で否決された。

請願の審議結果

| 件 名 | 請 願 者 | 紹介議員 | 結 果 |
|----------------------------------|---------------------------------------------|--------------|-----|
| 日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願 | 新庄市千門町1-38 生活協同組合共立社新庄生協 地域理事会議長 岸 昌子 | 遠藤敏信 叶内恵子 | 採 択 |

総務文教常任委員会に付託され、委員長報告では「採択」でした。
本会議での採決の結果も「採択」でした。

人事案件

9月7日(定例会初日)に同意された教育委員を紹介いたします。

新庄市教育委員

阿部 浩悦 氏
(新庄市松町21番地9)
斉藤 浩昭 氏
(新庄市大字本合海72番地)

平成30年度補正予算に関する質疑

チョイス1

公有財産購入費 4380万円

Q. 看護師養成所はなぜ2022年4月に開校しなければならぬのか。旧沓澤医院跡地にした理由は。2022年に変わろうとしているカリキュラムへの考えは。設置認可先は。

A. この学校を設立する大きな目的は、地域の看護師不足に対応することと若者の定着である。新庄最上地域の生徒が、地域の高等教育機関で勉強できる環境を作ることは大変重要と考える。様々な問題で進学ができない生徒達が進学する道も開け、1年早くなればそれだけ早く効果が出る。厳しいスケジュールと認識している。手続的な問題で1年延長も想定されるが、目標年次を決め、できれば最短で進めたい。建設予定地については、行政が学校を設立すること自体がまちづくりであり、まちとの関連性を考えた場合に第1候補地である旧沓澤医院用地が適当と考えた。カリキュラムについては、2021年度までに示されれば、新カリキュラムで学校が運営できる可能性もある。内容は授業内容の変更なので、今までやっている専門学校が対応できないことはないと考え、設置認可を行うのは、県の地域医療対策課になる。

チョイス2

測量設計業務委託料 680万4千円

Q. エアコン設置の委託料について。明倫学区義務教育学校は3年後に開校されるが、開校までの小中学校にはこの委託料が入っているのか。

A. 明倫中、沼田小、北辰小は仮設で進めさせていただきたいが、今回計上した業務委託料にはその3校の仮設分の設計も入っている。

チョイス3

地域密着型介護施設等整備費補助金 3337万2千円

Q. 施設はどこに作られ、誰が作るのか。またどのような施設で何人ぐらいの利用予定か。

A. 下田町の鈴木整形外科跡地に建設予定で、設置及び経営主体は(株)ティクオフ。ヘルパー、デイサービス、宿泊のサービスを一体的に提供する小規模多機能型居宅介護施設である。利用定員が29名、その中でデイサービスの1日の定員や宿泊定員がある。主に認知症の方等、サービごと提供者が変わると混乱する方等には適していると思う。一体的に提供するので、例えばデイサービスに急に行きたくないとなった時には代わりにヘルパーが訪問するなど柔軟な対応が可能である。

チェック!!



かむてん © 新庄市×富樫義博

賛成多数で認定

一般会計

【歳入】

Q. 人口減少に伴う市税の減額、くわえてたばこ税、入湯税が減る、この歳入不足を補うのはふるさと納税だと考えられるが、対策を伺う。

A. 今後の方向性として、持続可能な市政運営をするためにも定住施策を頑張りなければならぬ。定住施策に特効薬はないので、堅実に今進めている施策を継続する。また新たに他市の例なども参考にしながら行っていくことが必要と思う。

Q. 平成29年度発行額5億3800万、29年度末で68億2800万の現在高のある臨時財政対策債を、市ではどのように位置づけているのか。

A. 臨時財政対策債は、年々減少傾向にある普通交付税を補てんする意味で創設された起債であり、市としては一般財源を確保するため、現状では起債せざるを得ないものと考えている。

【歳出】

職員地域担当制について

Q. 市役所と市民をつなぐ、いい仕組みと思う。災害時には特に有効だ。一方、用をなさないといい声もある。今後の取組みについて伺う。

A. 3回の定期訪問を中心に行っているが、第1に常日頃から町内と顔を繋いでおくことが大切だと考えているので、その中で問題提起があり、課題解決に向かうこともあると思うので、か

最上猟友会負担金

なり大切な事業であると考えている。
Q. 有害鳥獣の被害内容把握と出動やわなの貸し出しについて。

A. (環境課) 最近猪を始めとした有害鳥獣の問い合わせ等がある。捕獲の件数は、野兔11羽、カラス7羽。熊の通報は11件、捕獲実施が1件である。(農林課) 猪は、特に市の南部や芦沢、大谷地地区に非常に多く出没している。

昨年年度から県の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、市の鳥獣被害対策協議会が59万7千円の交付を受けた。昨年はその中で箱わなを2つ購入し設置した。猟友会にはわな設置後のパトロールや追い払い活動として、特に冬場だが出動してもらい、交付金を活用し日当や燃料費を支援し、大変活動しやすくなったとの評価を得ている。今後県も交付金を活用し猟友会の活動を活性化していきたい。

多面的機能支払交付金

Q. 交付金使用額と利用率、不参加地域への対応と、今後の施策動向について。

A. この交付金は5年間の計画で、現在金額を精算する時期に入っている。来年からまた5年間の計画が始まるが、今回の災害の補修で使っているので、今後の見通しとしてはほぼ全額使うのではないかと考えている。今回の災害もあり、現在保全会がないが今後作りたいたいという地区もある。特に会計処理等の事務手続関係は農家にとって非常に難しいと思うので、懇切丁寧に対応したい。この事業は近年多発している災害にも

対応でき、活動範囲は広いので増額要求をしていきたい。ただ現在はその耕地面積により金額が定まっているので、満額獲得できるように進めたい。

林業振興費

Q. 貯木場の安全性は保たれているのか。一部では崩れている所もある。加えて異臭を放つことで問題化している対応とともに、指導を願う。

A. (農林課) 野積みしている業者に対しては直接指導しており、県にも指導している。なお、現在升形に大きな貯木場を計画しており、今の場所からは離れて集中化を図ると聞いている。(環境課) 鳥越にある貯木場の相談は何回か受けている。現在業者側と話ししており、地区の代表者の方と環境課も入り話し合いを持つ予定である。その中で地区の考え方、安全性を保ってほしいなどといったことを、環境課も含めて伝えたい。

自主防災組織育成事業費補助金

Q. 当市の自主防災組織の進捗状況はまた、地域における活動と防災士との関わりをどのように図るのか。

A. 自主防災組織の組織化率は29年度末で54・88%、今年度8月末で56・03%である。今年度中に設立したいという町内が9つほどあるので、組織化に向けて取り組みたい。防災士は地域の防災力の向上を図る目的で気象、災害、防災に関して専門的な知識を有し、地域や自主防災組織の中で、知識を生かして計画や防災意識の普及、活動等を行う。自主防災組織連絡協議会、

市のお財布

2日間の話し合いで

防災士会と話し合いを持ち、地域の自主防災組織、町内会と連携を取って進めていきたい。

外国人観光客案内体制整備事業委託料

Q: 外国人観光客も新庄にも年々増え受け入れ体制の強化が急がれるが、市観光協会に設置されている、おもてなしレディスの体制整備は。

A: 外国出身者によるガイドボランティアの団体を組織し30年3月には7名で実施している。現在は英語、韓国語、中国語、台湾語に対応している。今後、も各国からの観光客へのおもてなしは、様々な外国への対応として考えていきたい。現在タイからの観光客の誘致も考えているので、様々な方々から加わっていただきたいながらも、もっと増やしたい。

子育て支援について

Q: 市における保育所の待機児童者の有無について、また育児休暇を延長するためにあえて待機児童となるような事案はないか。認可・認可外保育施設の事故率に違いはあるか。

A: 29年度当初の待機児童はいなかった。育児休暇を延長するための申請については、明確な件数等は把握していない。保育施設での事故発生について、認可・認可外施設ともいけがによる事故はあるが、本市での施設の形態による事故率については、事故件数が少なく違いがあるとは言えない。

公園管理事業費

Q: 最上公園の管理はどうしているか。

A: 都市公園の管理は、体育協会や公園の造園会社を含め委託している。お堀については、最上公園全体で桜も含めた計画を策定しているのでその中で定めたい。心字池は最上公園の骨格をなす大変重要な要素である。水質の悪化等も懸念されたため直営で対応し、かなり改善されたと認識している。今後定める計画で心字池についても定めていければと考える。

空き家対策事業

Q: 空き家の管理への助言、指導と、空き家バンク活用の実績は。

A: (環境課) 空き家で一番多いのが雪の苦情である。雪が道路や通学路に落ちた等、強風のため屋根が飛んだ、雑草が生えて虫がわいているとの苦情もある。そういった苦情があった場合に空き家の持ち主に対して指導している。(都市整備課) 空き家バンク登録は、28年が15件、29年が9件で、今年4件ほど申し込みがあった。累計すると約30件になるが、そのうち約半分が取引なされている状況である。

不登校適応教室等指導事業

Q: 不登校適応教室に3名の相談員を配置指導を行っているが、56名の不登校児童生徒を数えている。今後の対応をどのように考えているか。

A: 不登校と言われる児童生徒は56名中35名。また、不登校ではないが学校を渋る子どもまたは学校には来るが教室に入れない子どもなど非常に増えている。教室での居場所や人間関係、分

もし何かあった場合、心配な時は誰でもいいので口に出して相談できるように体制を取っている。不登校はぜひ減らしていきたい。不登校傾向の子についてはできるだけ早期に対応していきたい。

学校経営指導事業

Q: 教職員のスキルアップに向けた教育委員会の姿勢、学校経営指導事業について伺う。

A: 学力向上には日々の授業改善が一番の対策として、教育委員会でも大きな課題の一つとして捉えている。そのため各担当で日常の授業づくりの指導等行っている。研修では今年から年数回学力向上委員会を実施。また、市の探求型のモデル校の授業参観も行っている。授業づくりは、学校業務の中では児童生徒と向き合う時間をいかに確保するかが大事。学校でも若い先生が非常に増えているので、OJTや校内研究の組織を使い、学校全体で育てスキルアップしていくことも大事と思う。

児童生徒個別支援事業費・日々雇用賃金

Q: 個別学習支援員に通勤手当は支給されているか。

A: 個別学習指導員と特別教育支援員は23名配置しており、通勤手当は支給されていない。支援員は面接等を通して採用しており、通勤の条件等も話しながら進めている。勤務条件は市全体の嘱託職員等に関わることなので、様々検討しながら考えたい。

一般質問

一般質問は、9月10日と9月11日の2日間、7名の議員が行いました。

質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。



ねえ、かむてんおしえて

一般質問って何?



一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



9月定例会一般質問の質問者と質問事項

山科 正仁

1. 突発的災害に対する危機管理と対応について
2. 学校施設整備について

佐藤 卓也

1. 地域経済分析システム (RESAS (リーサス)) の活用について
2. OODA (ウーダ) ループの活用について
3. 農福連携について

小関 淳

1. 家庭ゴミの回収事業について
2. スクールバスの運行内容について
3. 新庄まつりのごみ対策について

小嶋 富弥

1. 新庄祭りについて
2. 子育て支援について
3. 防災について

佐藤 悦子

1. 介護保険の改悪、サービスの後退を許さず、負担軽減を求めることについて
2. 災害対策の中心である公助について
3. 子育てにやさしいまちづくりについて
4. 学びやすい学校施設について

叶内 恵子

1. 新庄まつりと伝統芸能を含む芸術、文化、歴史の継承について

清水 清秋

1. 豪雨がもたらした被害の対応・対策について伺う
2. 政策提言について聞く
3. 営林署所有の跡地について

先手必須、危機対応

災害行政、避難指示を発令し、市内8箇所に避難所を開設し、防災



河川氾濫でえぐれた堤防(仁田山橋上から)

市立 先の豪雨災害では、大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報を受け、災害対策本部を設置し、全庁的に対応にあたった。気象情報は洪水・土砂災害の危険度分布を基に避難勧告・避難指示を発令し、市内8箇所に避難所を開設し、防災

◎ 今回の豪雨災害に対する1次のな復旧を各保全会に委ねた為に起こっている「集落の復旧格差の解消と農業者に対する補助金の自己負担の軽減救済」をどの様に考えるかを伺う。



山科 正仁 議員

無線、エリアメール、広報車により避難を呼びかけた。人的被害はなかったが、住宅、道路・河川、農地・農作物、水道施設など広範囲にわたる多数の被害が確認されている。復旧の取り組みとしては、国の災害復旧事業、市と県でそれぞれ新たに創設する災害対応事業での復旧を進める。また、農地・農道等については、個別の相談会を実施しながら細やかな対応に努める。

◎ 今年度の猛暑による児童生徒の健康被害の状況とどのような保護対策を行われたのかを伺う。また、市内全校エアコン設置を早急に推し進める必要性があるが市の考えを伺う。

◎ 今年度の猛暑による児童生徒の健康被害の状況とどのような保護対策を行われたのかを伺う。また、市内全校エアコン設置を早急に推し進める必要性があるが市の考えを伺う。

◎ 今年度の猛暑による児童生徒の健康被害の状況とどのような保護対策を行われたのかを伺う。また、市内全校エアコン設置を早急に推し進める必要性があるが市の考えを伺う。



7月中旬、教室の早朝現状 (28度超え)

地域経済分析システム(リーサス)を活用しよう!!



佐藤 卓也 議員

◎平成27年より「地域経済分析システム(リーサス)」が運用されているが市はどのように活用し、今後どのように情報分析の人材を育てていくのか。

市長 本市では、地方自治体が地方版総合戦略の立案、実行、検証等を行う際の支援システムであるリーサスを、総合戦略を策定の根拠データや総合戦略の推進に向けた事業



の企画を行う際に現状を把握するために利用するなど地域の状況を把握することができるツールとして活用できるものと考えている。ビッグデータなどの各種統計情報を分析し、有効に活用するための職員のスキルアップ

については、行政運営において大変重要なことであると考えていることから、総務省統計研究所の研修に職員を派遣し、人材育成に取り組んでいる。

◎農業の後継者不足や耕作放棄地の拡大が課題となっており、農業の発展と障がい者の仕事創出というメリットを生み出す農福連携についてどのように考えているのか。

市長 農業振興と障がい者の就労推進のため、国や県による農福連携推進の取り組みが活性化しつつある。

県は、今年度プロジェクトチームを発足させ、労働力を必要とする農業分野、障がいの特性等を踏まえ、普及啓蒙や情報共有、調査、関係者間の調整が始められた。市としても、関係者等への適切な情報提供を通し、取り組みを進めたいと考えている。

誇りを持ち、心穏やかに暮らせるまち



小関 淳 議員

◎家庭ごみの回収袋には町名、世帯主名の記入義務がある。袋の中には多くの個人情報報やプライバシーが詰まっております。様々な犯罪を誘発する危険がある。保護対策の必要は。

市長 ごみ袋に町内名と名前を書いていただく理由は、適正分別と収集運搬時の事故防止にある。収集時にごみ袋の外観から間違った分別であることが判明した場合は、作業者が指摘事項を記したシールを貼り、取返して取り残すことで排出者に注意を促している。

記名がない場合は、相手方にお知らせすることができないので、記名の必要性について理解をお願いしたい。ごみ集積所の管理については、町内会や衛生組合連合会の協力を得ながら、個人情報保護、

プライバシー保護に努めたい。

◎毎年、新庄まつり後には中学生やボランティアの皆さんが街を清掃してくれている。世界に誇れる地元のみまつりだが、今後もごみの散乱する状態で良いのか。「世界一のごみゼロ祭」を目指しては。

市長 今年は、6箇所のゴミステーションの一部の設置間隔を短くし、回収も定時巡回だけでなく、状況に応じ回収を早めるなど新庄まつりにおけるごみ対策を実施した。また、清掃業者の協力による早朝のごみ回収や実行委員会等による露店閉店後のパトロール・ゴミ拾いなどにより環境美化に努めた。今後の対策として、場内アナウンスなどによる啓蒙・啓蒙が必要であり、更に最上地区お祭り商業協議会の協力を仰ぎながら、各露店に「ゴミ袋を設置する方法」なども検討し、「ユネスコ無形文化遺産の名に恥じない『きれいなお祭り』」を目指していきたいと考えている。



住んで幸福と安心を感じる市政に

一般質問



小嶋 富 弥 議員

◎里帰り出産時の上の子の預かり、途中入所、一時預かり可能な役割を担う認可外保育施設の充実をどう図るのか。

市長 認可外保育施設は、保育士の人数や設備などに関する事など、認可保育施設と比較すると基準が緩められているが、十分な愛情をもって子どもたちを保育し、また、年度途中の入所の受入れ等、市の待機児童対策の一端を担っていただいている。また、制度上、認可保育施設



で受け入れが困難な里帰り出産や最上地域の町村の児童の受入れなど、多様な保育が可能な保育施設として重要な施設であることを認識している。認可外保育施設の運営については、経営者側とも話し合いを重ねながら、認可外保育施設の望ましいあり方について検討したいと考えている。

◎最近想定外の災害が発生しているが、災害時の新たなステージに対応した防災、減災の防災計画の再構築は急いすべきではないか。

市長 本市では、新庄盆地断層帯を震源とする地震、局地的集中豪雨、河川の氾濫等が想定され、災害はいつでも起こるという気構えで平時から防災体制の強化を図る必要がある。今回の災害を教訓に職員の行動記録や問題点を総括し、地域防災計画や各種マニュアルの見直しに活用したいと考えている。市のハザードマップについても、最近の災害に対応していない面もあるため、県管理河川の浸水想定の見直しをする。大規模災害時は、自主防災組織や町内会、民生委員などと連携し災害時の早期避難、避難所の運営など共助の取り組みが重要であり、自主防災組織の組織率向上と活動支援を図りながら災害に強いまちづくりに向けて取り組んでいく。

介護保険サービス後退許さず、負担軽減を



佐藤 悦子 議員

◎特別養護老人ホームの増設、人材の確保、事業者支援が必要ではないか。年金が減る中で、在宅介護の利用を控える人が多い。低所得世帯に利用料の5割を市で補助すれば、とても助かるのではないか。

市長 特別養護老人ホームの入所待機者数は、平成29年度の調査では、124人となっている。5年前は、192人の入所待機者で、新たな施設の開所等により減少した。介護現場における人材確保対策として、もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会を組織し、介護人材育成・確保・定着・離職防止を図るため、一丸となって取り組んでいく。また、介護サービスの利用者負担については高額介護サービス費支給制度があり、

世帯の所得状況に応じた負担上限額が設けられている。今後も、介護サービスの現状を把握し、課題を整理したうえで地域ニーズに基づいたサービスや支援制度を検討したいと考えている。

新庄市の介護保険料 月額

| | 2000年 | 2018年 | 2025年 (見込み) |
|-----|-------|-------|----------------|
| 基準額 | 2567円 | 6200円 | 6896円 |
| 比較 | 1 | 2・4倍 | 2・7倍 |

◎保育料無料化の実施のとき、給食費無料も続けるべき。待機児が増えることが予想されるが、保育基準を満たす認可保育所を増設してほしい。

市長 保育所の給食費を含む保育料については、国の保育料無償化の動向を見極めながら対応する。また、保育料無償化に伴う女性の就労の増加とともに保育の需要が増すことが見込まれるが、認可保育施設の増設については、来年度新たに計画策定を行う「新庄子ども・子育て支援事業計画」の中で、保育の量の見込みや確保の見込みを十分に精査して行く。

芸術文化を生かした地域の活性化を



叶内 恵子 議員

◎芸術文化伝統を地域の活性化とするために芸術文化伝統を推進する部署を設置すべきではないか。

教育長 本市における芸術文化の振興策は、まちづくり総合計画に定められている。「互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興」の実現を目指し、「文化芸術の鑑賞や創作等に関わる機会の提供」を図りながら、これまで様々な事業を展開してきた。具体的には、市芸術文化協会との連携、新庄市芸術祭の開催など広く市民が参加できる文化活動の提供と支援を通じ芸術文化の向上を目指している。また、感性豊かな人材の育成に努めるため、小中学校演劇・音楽鑑賞教室など優れた芸術文化の鑑賞機会の提供、音楽・演劇・創作



などの幅広い表現活動、体験活動を行う「子ども芸術学校」の実施により、子どもたちが芸術文化の活動に参加できる場を提供するなどの事業を展開している。今後、まちづくり総合計画の実現に向けて進むとともに、国や県と連携を図り、本市の文化芸術を通じた地域の活性化も視野に入れながら文化芸術の振興を図りたいと考えている。現在、文化財や芸術については、社会教育課が担当している。芸術文化を、産業の振興を含めた形として、市全体としてどのように進めるのか検討は必要と感じている。

豪雨がもたらした被害の対応、対策について



清水 清秋 議員

◎8月に降った豪雨が大きな被害をもたらした。それ等に対して市の対応、職員の市民から寄せられた情報に対して適切な対応は、なされたのか。

市長 市民からの被害の状況や連絡があったものについては、緊急的なものは浸水箇所への土のう設置、冠水道路の通行規制、危険地区への避難指示と避難誘導などを行い市民の安全確保を行った。本合

海の内水排水設備については、排水能力が追い付かず、国土交通省と最上広域事務組合の排水ポンプ車を手配し、更に市消防団の小型動力ポンプによる排水作業により浸水被害を最小限に食い止めた。市道への土砂流出対応は、歩行者及び車両交通の安全確保のため早期撤去に努め、8月10日までに概ね撤去を完了している。農地・農道等の復旧については、戸別の相談会を実施し細やかな対応を行いながら進めたいと考えている。

◎政策提言は全議員の総意に基づいた重要な課題であり、温泉、道の駅構想には、市長の真意が問われている。もっと市民の声に耳を傾けるべきだ。

市長 議会から提出される政策提言については、市としても重要な課題と捉えている。温泉施設については、市民の健康増進を図るために重要であると認識しており、提言も議会の総意として重く受け止めているが、市自らが温泉を経営するとなれば慎重な対応にならざるを得ないと考えている。また、道の駅は今年6月に基本構想を策定したが、建設のタイミングについては、現在、市が抱えている大型事業の平準化や高速道路がつつながらる時期の見通しなどから判断したいと考えている。

産業厚生常任委員会

8 / 29 8月5日豪雨
被災状況視察確認

8月豪雨に、議会も対応

対応の経過

8月7日 被害状況報告
8月29日 被害状況報告
現地視察
9月13日 被害状況報告

8月7日に全員協議会を受けて市内被災箇所状況を農林課、都市整備課、環境課に報告いただき、さらなる情報把握を求めました。被害箇所がまとめられ、8月29日(水)に産業厚生常任委員会終了後、産業厚生常任委員会全員で現地視察を行いました。

山屋地区の市道崩壊箇所と水田畦畔崩壊箇所、畑地区の水田土砂埋没箇所、宮野地区の水路土砂流入箇所を現地で報告を受け、想像を超える被害状況に短時間降水量の凄さを目の当たりにしました。

実際に被害状況を見ることで地域の状況がわかり早期復旧に向けて対策を講じていかなければならないと一同感じてまいりました。



この街に学ぶ

起新の会

◎佐藤義一、石川正志、小嶋富弥

1. 日程 7月10日～13日

2. 視察先

①農業と福祉の連携による6次産業化の取組(留萌市)

②木質バイオマス火力発電所関連事業(紋別市)

③SNSを中心としたゼロ予算広報(稚内市)

④インバウンドを活用した観光事業(稚内市)

3. 所感

園芸部門で顕著な伸びを示している本市の農業において、将来的な人手不足が懸念されている。障がい者及び生活保護者の就労をサポートする機能を農福連携として位置付け、今後の市有施設の有効活用と結び付けていくことは十分に効果のある施策と感じた。

4. このたび使用した政務活動費

313,882円

市民・公明クラブ

◎佐藤卓也、小野周一、高橋富美子、

山科正仁

1. 日程 7月17日～19日

2. 視察先

①絵本によるまちづくりについて(剣淵町)

②観光型観光振興について(旭川市)

③全国初の公設民営劇場の運営について(富良野市)

3. 所感

絵本による地域おこしの剣淵町は映画「ジンジン」とのコラボ効果を最大限に生かし、旭川市には近隣公共団体との連携による観光力の向上を図り、富良野市においては、「北の国から」の舞台として、複合施設型のマルシェ展開を主軸とした施策であった。

4. このたび使用した政務活動費

316,720円

絆の会

◎森 儀一、清水清秋、新田道尋、今田浩徳

1. 日程 7月11日～12日

2. 視察先

全国地方議会サミット2018(議会のチカラで日本創生(新宿区))

3. 所感

議会改革の先進事例を学んだことはもちろん、普段の講演でも聞く機会が少ない講師陣の話が聞け

- たことは大変貴重な時間を過ごせ
たと思います。我々議会が先頭に
立って市政を進めていくためにも
住民の参画がとても必要です。言
葉で解っていないでもまだまだつな
がっていないのではないかと感じ
てまいりました。
4. このたび使用した政務活動費
155,376円

穆清会

- ◎遠藤敏信、小関 淳、奥山省三
1. 日程 7月11日～12日
2. 視察先
全国地方議会サミット2018～
議会のチカラで日本創生(新宿区)

3. 所感
全国津々浦々から、地方議員1
千名が参加した研修会。会場は満
席で、移動が困難なほど。議員と
して当たり前のことながら、それ
ぞれの地域で、地域課題に取り組
む手法・姿勢に学ぶところが多
かった。

4. このたび使用した政務活動費
84,600円

叶内恵子(無党派)

1. 日程 5月14日～18日
2. 視察先

市町村議会議員研修「5日間コー
ス」～新人議員のための地方自治
の基礎

3. 所感

議会基本条例にしても議会会議
規則にしても、それらを活用する
人間の意図により法はいくらでも
解釈を可能とする。重要なのは、
議員として、それらの法を先例踏
襲や前例主義ではなく、中立、公
平の立場で理解し活用することで
ある。

4. このたび使用した政務活動費
31,290円

※◎は会派の代表者
視察の報告は、市議会ホームページ
にも掲載しております。

政務活動費とは、議員の
調査研究その他の活動に資
するため必要な経費の一部
として、議会における会派
等に対して交付されるもの
じゃ。



第13回議会報告会開催のお知らせ

新庄市議会では、「市民に開かれた議会」を目標に、議会が身近に感じられる取り組みを進めています。
今回は、平成30年9月議会の報告とともに、意見交換を行います。多くの皆様の参加をお待ちしております。

| 開催日 | 会場 | 担当議員 | 時間 | | | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------|----------------------------------|----|----------------------------------------|----|----------------------------------------|----|----------------------------------------|
| 11月20日(火) | 松本公民館 | A班 | 午後6時30分～ 8時00分 (午後6時00分開場) | | | | | | |
| | 中道町公民館 | B班 | | | | | | | |
| | 吉沢公民館 | C班 | | | | | | | |
| 11月21日(水) | 円満寺公民館 | A班 | | | | | | | |
| | あたご町公民館 | B班 | | | | | | | |
| | わくわく新庄 | C班 | | | | | | | |
| 11月22日(木) | 赤坂公民館 | A班 | | | | | | | |
| | 八向地区公民館 | B班 | | | | | | | |
| | 上野・蛇塚公民館 | C班 | | | | | | | |
| <table border="0"> <tr> <td>A班</td> <td>高橋富美子(班長)、遠藤 敏信、山科 正仁、清水 清秋、佐藤 悦子、小関 淳</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>叶内 恵子(班長)、小嶋 富弥、奥山 省三、佐藤 卓也、石川 正志、森 儀一</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>新田 道尋(班長)、佐藤 義一、今田 浩徳、下山 准一、星川 豊、小野 周一</td> </tr> </table> | | | | A班 | 高橋富美子(班長)、遠藤 敏信、山科 正仁、清水 清秋、佐藤 悦子、小関 淳 | B班 | 叶内 恵子(班長)、小嶋 富弥、奥山 省三、佐藤 卓也、石川 正志、森 儀一 | C班 | 新田 道尋(班長)、佐藤 義一、今田 浩徳、下山 准一、星川 豊、小野 周一 |
| A班 | 高橋富美子(班長)、遠藤 敏信、山科 正仁、清水 清秋、佐藤 悦子、小関 淳 | | | | | | | | |
| B班 | 叶内 恵子(班長)、小嶋 富弥、奥山 省三、佐藤 卓也、石川 正志、森 儀一 | | | | | | | | |
| C班 | 新田 道尋(班長)、佐藤 義一、今田 浩徳、下山 准一、星川 豊、小野 周一 | | | | | | | | |

《お願い》報告会当日は、「しんじょう市議会だより No.142」をご持参ください。

特集

未来を育む子供たち



「萩野の未来」

萩野学園6年
井上 裕太 くん

ぼくは、5年生のときに新しい萩野の農業についてたくさん調べました。萩野には、新しい農業に取り組んでいる人がたくさんいました。新庄神室産業高校の生徒と一緒に製品を開発している「ラズベリー」。大学の先生と土を研究している「泉田里芋」。他にも、冬の寒さや昼と夜の寒暖差で果物がおいしくなるように工夫しているということを知って、萩野の土地と気候を利用し、工夫をしている農家がたくさんあるんだ

などおどろきました。

こんなに素晴らしい萩野の農業をもっと盛んにするためには、もっと全国の人に知ってもらい、知名度を上げることが大切だと思います。そのために、自分たちで食べて、萩野の農作物のおいしさを味わって自まんでできるものがたくさんあることを知り、ぼくたち萩野学園生が中心になって情報を発信し、全国にPRしていきたいです。そして、素晴らしい萩野の未来を創り上げていきたいと思っています。



12月定例会会の予定

11月27日(火) 請願締切

12月7日(金) 開会

10日(月) 一般質問 **中継あり**

11日(火) 一般質問

12日(水) 常任委員会

13日(木) 常任委員会

19日(水) 最終日 **中継あり**

開会は10時です ◇ 請願は随時受け付けております

議会を傍聴してみませんか？

どなたでも傍聴できます。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコンのほか

スマートフォン・タブレットでも
市議会ネット中継が視聴できます！



◆市議会◆
インターネット中継



ウェブサイトで検索

新庄市議会 中継

市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますのでぜひご活用ください。
※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

障がいをお持ちの方や高齢の方でも議会傍聴しやすい環境づくりを目指していきたいと考えています。市民の皆様のご意見をお聞かせ下さい。

議会報編集委員の紹介

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 委員 | 副委員長 | 委員長 | 石川 正志 |
| 山科 正仁 | 遠藤 敏信 | 今田 浩徳 | 佐藤 悦子 |
| | | | 叶内 恵子 |

天候が異常だ。8月はじめまではカラカラ天気。そばを播くため土を起せばほこりが舞う有り様だった。誰もがまとまった雨が欲しい、と思っていた矢先に降った雨は、集中豪雨。しかも月末と合わせて2度重なった。農地の冠水・法面の崩落、道路・河川の決壊等が発生し、影響は多方面に及んでいる。人的被害がなかったことが救いだ。新庄は「冬の雪さえしのげば災害の少ない町」として、行政と市民の意識に油断がなかったとは言えない。災害に対する認識を新たに、防災・減災に向けた対策を講じなければならぬ、と思う。(記・遠藤敏信)

あとがき

